

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市金剛沢児童館	
2 指定管理者	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和5年度 20,262人(前年度比 131.8%) ・令和4年度 15,375人 ・令和3年度 13,407人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 43,049千円 (43,916千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。 なお、職員における虐待や不適切な対応を防止する取り組みについてのマニュアル「職員における虐待等の不適切な行為に対する対応について」を作成し、職員会議やOJTを開催して職員間で周知共有、子どもの人権に十分に配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して支援が行われている。	19/18

三 評価総括

《指定管理者（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）による自己評価》
<p>令和5年度も「みんなのえがお輪和笑」をキャッチフレーズに様々な活動を展開してきました。子どもまん中を念頭に子ども主体を意識して来ました。</p> <p>児童健全育成事業 日々中学生の利用があり小学生と一緒に遊ぶ時間、中学生だけで遊ぶ時間を自分たちで決め上手に館内を活用していました。遊び場がない地域なので児童館をフルに活用してもらいたいです。3年ぶりに児童館まつりを開催し多くの来館がありました。子どもたちも待ちに待ったまつりに目を輝かせて参加していました。</p> <p>子育て支援家庭事業 乳幼児親子の利用人数が少しずつ増え、令和5年度はおたんじょうび会も再開しました、定例行事も保護者がほっとできる時間を意識し、育児の悩みなど話している姿が見られました。</p> <p>地域交流推進事業 公園の環境美化活動に子どもたちと参加し地域の一員であるという意識を育みました。恒例の「小さな芸術祭」に子どもたちが作成した招待状を町内会長を含め小学校の全先生に渡し賑やかに開催できました。</p> <p>放課後児童健全育成事業 季節が感じられる工作を毎月実施。館内は子どもたちの作品に溢れていました。遊戯室でのボール遊びは大人気ですが、運動が苦手な子どもも楽しく体を動かせるよう「JUMP-JAM」で遊んだり長縄チャレンジや跳び箱遊びなど工夫して遊びました。天気の良い日は近隣公園で遊び、夏の暑い日はサテライト利用児童と共に水遊びをし、駐車場にチョークでお絵描きをする等児童館ならではの遊びを展開しました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、土曜日の中高生タイムや中学生が遊戯室などを自由に利用できるようにしたこと、中学生が定期的に利用している。日常的に小学生との交流がみられ、異年齢の関わりを通して社会性や主体性を育みながら、子ども達の居場所作りに取り組んでいる。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、子どもの発達に悩みを抱えている保護者対象の「つぼみの会」や不登校児童の保護者対象の「ブルームルーム」を定期的に開催し、相談や情報交換をしながら仲間作りの場となるよう支援している。乳幼児親子対象の登録制の「びかり」や申し込み制の「はればれ組」では、制作や運動遊び、季節の行事など多彩なプログラムを提供している。乳幼児に豊かな遊びの場を提供すると共に、保護者がホッとしたり保護者同士の交流の場となっており、子育て家庭を支援する環境作りに努めている。</p> <p>地域交流推進事業においては、近隣の公園の環境美化活動に定期的に参加しながら、子ども達が地域と関わりながら育つ環境作りに努めている。また、毎年恒例の「小さな芸術祭」や、子ども達の作品を展示した地域のふれあい祭りは、地域との交流を広げながら子ども達が達成感や自己肯定感を得る機会になっている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、夏祭りやクリスマス会などの行事を子ども達が主体となって開催した。様々な発達の過程にある子ども達が企画の段階から意見を反映させる機会を設け、主体的に運営に関われるよう工夫している。また年間を通して工作活動や「ウクレキッズ」などの音楽活動を実施し、楽しみながら豊かな感性を育む環境に取り組んでいる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課